

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年12月3日 (2015.12.3)

【公表番号】特表2015-512530(P2015-512530A)
 【公表日】平成27年4月27日 (2015.4.27)
 【年通号数】公開・登録公報2015-028
 【出願番号】特願2015-504542(P2015-504542)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 6/40 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 6/40

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月9日 (2015.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光ファイバコネクタ内で光ファイバを支持するためのフェルールであって、
 光ファイバの第 1 のセットを第 1 の平面に支持するための複数の第 1 のセットの開放型溝と、光ファイバの第 2 のセットを前記第 1 の平面とは異なる第 2 の平面に支持するための複数の第 2 のセットの開放型溝とを、備えるよう構成された本体を備え、
前記開放型溝の各々は、1 本の光ファイバを、該光ファイバが該開放型溝の上部からはみ出すことがないように受容し、
前記第 1 の平面の前記光ファイバの第 1 のセットが、前記第 2 の平面の前記光ファイバの第 2 のセットに対して互い違いにされていることを特徴とするフェルール。

【請求項 2】

前記フェルールは、第 1 のフェルール半体及び第 2 のフェルール半体を含み、
 前記第 1 のフェルール半体は、該第 1 のフェルール半体の第 1 の平面に画定された前記第 1 のセットの開放型溝であって、前記光ファイバの第 1 のセットを支持する前記第 1 のセットの開放型溝を有し、前記第 2 のフェルール半体は、該第 2 のフェルール半体の第 2 の平面に画定された前記第 2 のセットの開放型溝であって、前記光ファイバの第 2 のセットを支持する前記第 2 のセットの開放型溝を有する、請求項 1 に記載のフェルール。

【請求項 3】

前記第 1 及び第 2 のフェルール半体をクランプ留めして、前記第 1 及び第 2 のフェルール半体を嵌合構成に維持するカラーを更に備える、請求項 2 に記載のフェルール。

【請求項 4】

前記フェルールは、前記開放型溝の第 1 のセット内の隣接する光ファイバが、第 1 の表面の第 1 の仕切りにより分離され、前記開放型溝の第 2 のセット内の隣接する光ファイバが、第 2 の表面の第 2 の仕切りにより分離されるよう構成され、

前記第 1 の表面及び前記第 2 の表面を嵌合する際、前記第 1 の仕切りが前記開放型溝の第 2 のセットに対面し、前記第 2 の仕切りが前記開放型溝の第 1 のセットに対面する、請求項 2 または 3 に記載のフェルール。

【請求項 5】

前記第 1 の仕切りは、前記第 1 の表面の第 1 の平坦部を含み、前記第 2 の仕切りは、前記第 2 の表面の第 2 の平坦部を含み、

前記第 1 の表面と前記第 2 の表面とを嵌合する際、前記第 1 の平坦部が前記開放型溝の第 2 のセットを被覆し、前記第 2 の平坦部が前記開放型溝の第 1 のセットを被覆する、請求項 4 に記載のフェルール。

【請求項 6】

光ファイバは直径 D を有し、

前記光ファイバの第 1 のセットは $2D$ の中央線間隔を有し、前記光ファイバの第 2 のセットは $2D$ の中央線間隔を有する、請求項 5 に記載のフェルール。

【請求項 7】

前記光ファイバの第 1 及び第 2 のセットを互い違いにして、前記光ファイバの第 1 及び第 2 のセットの直近の光ファイバが D の中央線間隔を有するようにする、請求項 6 に記載のフェルール。

【請求項 8】

前記開放型溝の第 1 のセットは、前記フェルールの周囲の第 1 の表面上に画定され、前記開放型溝の第 2 のセットは、前記フェルールの周囲の第 2 の表面上に画定される、請求項 1 に記載のフェルール。

【請求項 9】

前記第 1 の表面及び第 2 の表面を被覆するフレームを更に備える、請求項 8 に記載のフェルール。

【請求項 10】

前記開放型溝の各々が、1本の光ファイバをクランプ留めできるようにサイズ決めされていることを特徴とする請求項 1 から 9 いずれか 1 項に記載のフェルール。

【請求項 11】

光ファイバコネクタ内で光ファイバを支持するためのフェルールであって、

光ファイバの第 1 のセットと光ファイバの第 2 のセットとを支持するための本体を備え

、前記光ファイバの第 1 のセットが、1つの平面内において、前記光ファイバの第 2 のセットに対して互い違いにされており、

前記光ファイバの第 1 のセットが、前記 1 つの平面内において、前記光ファイバの第 2 のセットに対して互い違いになるように、前記本体が構成されており、

前記光ファイバの第 1 及び第 2 のセットは、前記光ファイバの第 1 のセットの前記光ファイバと前記光ファイバの第 2 のセットの前記光ファイバとが交互になるよう、隣接して配置されることを特徴とするフェルール。

【請求項 12】

前記第 1 及び第 2 のセットのそれぞれの光ファイバは直径 D を有し、

前記光ファイバの第 1 のセット中の直近の光ファイバは $2D$ の中央線間隔を有し、前記光ファイバの第 2 のセット中の直近の光ファイバも $2D$ の中央線間隔を有する、請求項 11 に記載のフェルール。

【請求項 13】

第 1 のフェルール半体及び第 2 のフェルール半体を含み、

前記第 1 のフェルール半体と前記第 2 のフェルール半体は、隣接して配置された前記光ファイバの第 1 及び第 2 のセットを受容するよう寸法決めされた幅広い平坦な開口を画定する、請求項 11 または 12 に記載のフェルール。

【請求項 14】

前記光ファイバの第 1 のセットは第 1 のファイバケーブルを構成する光ファイバであり、前記光ファイバの第 2 のセットは第 2 のファイバケーブルを構成する光ファイバであり

、前記第 1 のファイバケーブルは前記第 2 のファイバケーブルと分離されている、請求項 1 から 13 いずれか 1 項に記載のフェルール。

【請求項 15】

請求項 1 から 14 いずれか 1 項に記載のフェルール；及び

前記フェルールを支持するハウジング
を備える、光ファイバコネクタ。